

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	事業所開設時に法人の理事が定めた理念を見直すこともなく9年間が経過し、何の違和感もなく当たり前に日々のケアに当たってきたが、開設10年目にあたり職員の意見も聞く必要があると思われる、理念の検討が必要と思われる。	理事からの押し付けの理念ではなく、実際にケアに当たる職員自らの「こういう風に働きたい、こういうふうにお年寄りのお世話に当たりたい」といった意見を集約して佐古グループホーム独自の理念づくりを行う。	あまり時間をかけても無駄になるので、短期集中的にミーティング・勉強会等で職員の意見を出し合っ、最終的には管理者・リーダー職員でまとめる。	3 か月
2	(5)	入居者18名中4名に必要差し迫っての身体拘束(車いすからの滑落防止のベルト着用)を継続しているが、ベルト着用ありきでのケアになっているので、ベルトを外してみる試みを定期的に行う必要がある。	最終目標は身体拘束0だが、限りなくそれに近づけるようなケアの取り組みの実践。	身体拘束排除に向け、定期的にベルト外しを試み、その結果で継続が必要か排除可能かをミーティング・勉強会にて検討する。その経過観察を記録として残し、家族様へも報告したり相談して、代替策も含め入居者様の安全を優先にしたケアに取り組む。	6 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。